

## 社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣 良次

2020. 8  
No.324

人の振り見て 我が振り直せ！

西尾と安城の境をウォーキングしていた時に（いつもその道を歩いていたが初めて気づいた）とこんな看板が社員駐車場に立ててありました。『ゴミのポイ捨て禁止』よく見ると、その看板の近くに空きカン・パンのビニール袋・たばこの吸い殻等々落ちているではありませんか。

他社様の話をしている場合でなくイナテックでも社内を見渡すと張り紙でいっぱいです。張り紙がいけないということではなく、社員の皆さんのが、そのルールを守っているかどうか、それをフォローし指導をする、そして気持ちのいい安全な職場を創造することが目的なのです。

「指導」というより『コミュニケーション』かもしれません。人間というのは同じものを見ていても、感じ方は千差万別なのです。それを調整（コミュニケーション）して実行し維持継続する。その結果、きれいで気持ちのいい空間にするという目的を見失わないことです。“人の振り見て我が振り直せ”我々の身の回りをもう一度見直してください。

「損得勘定」が人生をやっこしくする

『小さな悟り』 枝野俊明 著

先日、今年の新入社員の研修報告会の挨拶で紹介させていただいた一節です。

とにかく社会人一年生の人たちは色々迷い考えるはずです。中途入社等々も同じです。さあ枝野先生の言われるようシンプルに考え方をしてみましょう。

その会社の管理の人たちは『ポイ捨て』看板を立てて終わり、「ルールを守らない人がいけないんだ」と言わんばかりです。看板は單なるルールの明示であって、本来のあるべき姿は看板もないゴミの捨てられていない“気持ちのいい駐車場”のはずなのです。

看板を設置しつぱなしでフォローも何もしない、それでは本末転倒ではないでしょうか。

「自分は何のために生きているのだろう」と考えると、現代人は、どうしても「損得勘定」が働いてしまう、それが良くないよう思います。

就職活動をする時「うちの会社の方がお給料がいいから得だな」「うちの会社の方が知名度が高くて自慢になるな」というように考えがちです。これはシンプルに「どんな会社であれ、職種であれ、仕事をする」と意味がある」と捉えてはどうでしょうか。そう定めると縁あって入社した会社で目の前の仕事に懸命に取り組むことができます。その中に「働く意味」はあるのです。人生にしても自分にできる」とは何かを考え行動することに意味がある、そういうブルに捉えるといいでしよう。

### 新型コロナウイルスでの改革

このコロナの中でのイナテックの改革は仕事の整理整頓です。やらなくても何とかなる仕事、やらなくてはいけない仕事のデジタル化です。

この枠野俊明先生は、2006年「ニューズウイーク」誌日本版にて「世界が尊敬する日本人100人」に選出された住職さんです。

“やらなくてはいけない仕事のデジタル化”

これはコロナ発生以前から取り組んでいたことを早期化することです。それは測定記録をラインサイドで直接PCに入力すること、又、生産実績もラインサイド直接PC入力し、毎日解析し原因を追究し元の問題点を解決し技能員の方々が楽に仕事の出来る現状をつくることです。

### PC最新版管理システム構築

社内でもようやく“情報セキュリティ”対策活動が始まりましたが、PCデータの最新版管理となるとまだ徹底されていないのが現実です。このためPC管理システムを見直し、再構築を急ぎ最新版管理を徹底することです。

最新版管理の必要性は言うまでもなく旧版で仕事をし続けた場合、お客様に多大な迷惑をかけ、最悪市場クレームに繋がる恐れがあるからです。社内様式の最新版管理をおろそかにしていると、取り返しのつかない事態になるということを念頭に置いてください。

### 八六

念頭起處、纔覺向欲路上去、便挽從理路上來。一起便覺、一覺便轉。此是轉禍爲福、起死回生的關頭。切莫輕易放過。

心が動いたとき、我欲の方へ行きそうだと気がついたら、それこそすぐに正しい道の方へ引き戻せ。一念が迷ったときにはすぐに気付いて、気付いたらすぐさま改めるようにする。これこそ禍を福に転じ、死を生にひるがえすきっかけである。決して軽くみて見逃してしまいうようなことがあってはならない。

### イナテック人財育成

まずは保全技術員の増員と育成です。これから製造現場はIT化・ロボット化・自動化が当然の世界になります。その時に必ず必要なのが保全技術なのです。機械・ロボットなどは必ず劣化故障を早かれ遅かれ起こします。それらを管理し保全できる人財の増員と育成は重要事項です。

それは我々の頭の中の整理整頓と新しい『5

G』の世界に考え方だけでも理解できる頭脳にしておくことではないでしょうか。それは年寄りも若者も関係ない世界なのです。

このコロナ条件下でも計画的な人材育成とイナテックグループ内での最適条件管理システムの構築は急がねばならないことです。

これからの中、日本では世界No.1の「富岳」が登場し、名古屋大学が開発した「不老」というスーパー・コンピューターが活躍する時代です。

つまり『5G』という我々では想像をはるかに超えた超高速演算技術を生かした世の中がやってくるわけです。せめてイナテックでは足元のPCの管理体制の整理整頓を急ぎましょう。

